

- 症例集書式 -

Case A 1 フロータイプを用いたコンポジットレジン修復症例

朝日 太郎, 岐阜 一二男*, 瑞穂 花子

*岐阜歯科医院

20 P, Times New Roman,
ボールド, イタリック

14 P, MS 明朝, ボールド,
最長 26 文字

C₂
5 6 7

7 6 5 4 3 2 1
シーラント

1 2 3 4 5 6 7
RF

●症例の概要

患者: 38 歳, F
初診日: 平成 18 年 10 月 21 日
主 訴: 定期検診
既往歴: 特記事項なし

注!) 歯式の所をクリックすると編集
できます。上下にカーソルを移動
させると様々な歯式が出てきます。

協力型施設のみ記
載。*も忘れずに!
(2 カ所)
MS 明朝
氏名 12P, ボールド
所属 10.5P

●現病歴・口腔内所見

- 図, 表番号を本文中に記載し, 2 ページ目の図表のページに対応させること。
- 図番号は二つまでは「,」で, 3 つ以上引用するときは「-」でつなぐこと。
例「(図 1,2), (図 3-6)」等
- 歯式を言葉で書く場合, 上下顎左右側何番の順に書くこと。
例「上顎右側 6 番」

●治療計画

歯肉の発赤腫脹, プラークの付着を認め, 染め出しによる動機付けを行う。患者へのブラッシング指導

- 基本的に岐阜歯科学会雑誌投稿規定に準じますので参照して下さい。
- 英数字は半角を使用すること。
- 句読点は「,」を使用すること。
- フォント, 大きさはひな形のまま変えないこと。
(太字, イタリック等注意すること)
- フォントは MS 明朝です。(英数とも)
- 本文は, 用紙 A4, 46 文字×48 行, 10.5P です。
- 「症例の概要」, 「現病歴, 口腔内所見等」の各段落の間に一行入れること。
- 図, 表は基本的に 8 枚挿入すること。

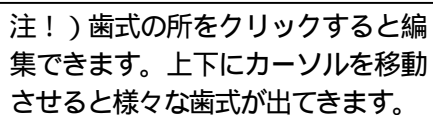
●治療を終えて

患者は協力的で, 唾液量が多いことなどは, ラバーダムにより解消し, フロータイプのレジンの使用

- 余白は上 28mm, 下 25mm, 左 27mm, 右 27mm のまま変えないこと。

更なる技術の向上, 知識の探求の重要性を痛感しました。

- ## 凡 例



- 4点法

1点法

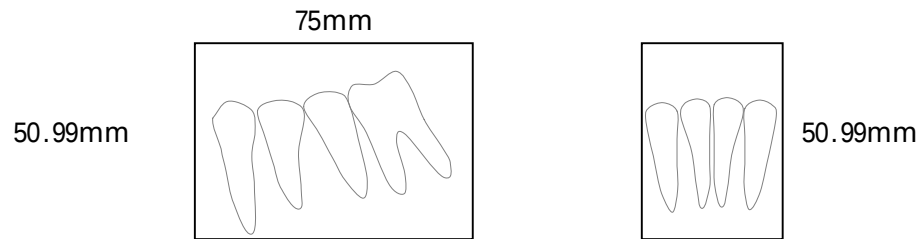
ポケットの深さ

動揺度

プローピング時の出血有り

欠損歯

- 2 ページ目，図表は計8 枚とし，1 枚のサイズは原則高さ 50.99mm × 幅 75mm とする．



○ 画像の挿入方法

- 1) ファイルを選択し画像を挿入する。
- 2) 挿入した画像を右クリックし、「図の書式設定」を選ぶ。
- 3) 「サイズ」を選択し、高さ 50.99mm、幅 75mm と入力する。その際下の「縦横比を固定する」チェックボックスのチェックははずす。
- 4) 続いて「レイアウト」を選択し、「前面」を選ぶ。
- 5) ドラッグアンドドロップで画像を挿入したい枠に綺麗にはめる。



図 1 咬合床



図 2 口腔内写真



図 3



図 4